



株式会社 SEI 喜羅里

代表取締役

いのまた

ゆみ

猪俣 由美さんに聴く

1968年生まれ。出身は上三宮町見頃。看護師・社会福祉士・介護支援専門員の資格を持ち、「ドレミ保育園」や、有料老人ホーム「みらい東千石」、介護付き高齢者専用賃貸住宅「きらりの家」などの介護施設を運営する。今年4月には塩川町に「きらり保育園」を開園。女性ならではのしなやかさで、地域・家庭のニーズを反映させ事業を展開している。



2007年5月30日創業。

「笑顔」・「和」・「心」を理念に、全ての人の“Smile”を追求した地域貢献事業を行っています。介護事業、保育事業を営んでおり、年間を通し利用者と園児の交流会を行うなど、高齢者と子どもたちが互いに共存し合い、生きる楽しみをより感じてもらえる事業所です。地元会津・喜多方を愛し、皆さまから愛される企業を目指します！

会社設立のきっかけは？

働きながら子を育てることの大変さを痛感していました。また、人の役に立ちたいという思いと自分のスキルを生かせる福祉サービスは、これからの時代も必要とされる業種であると確信し、会社設立に至りました。

これまでどのような苦労がありましたか？

女性であること、実績がないこと、資金がないことなど、さまざまな課題がありました。さらに子ども3人の母子家庭であることでの忙しさ、将来への不安などで精神的に不安定にもなり、立ち止まることも多々ありました。そんな中で会社のスタッフ、フや介護施設利用者の方々、保育園の子どもたちの笑顔、我が子たちに支えられ今日に至ります。

業務拡大・急成長の秘訣は？

大変な時期があったからこそ、人としてのあるべき考え方や必要な行動を深く学ぶことができたように思い

ます。地域社会におけるニーズに合わせ、常に企業努力をしています。安心・安全・信頼の構築が大事だと思っています。

男女共同参画社会への意識は変化していると思いますか？

保育園設立当初は、子どもの送迎は9割が母親や祖父母でした。現在では父親による送迎は約7割に増えていきます。

また、近年は連絡帳への記入、お弁当作りなどへの父親参画が増えているので家庭での役割分担や支え合いが実感できます。

大切にしていることは？

女性ということに悔しい思いもたくさんしてきました。さまざまな勉強会に参加し、自己研鑽に努めてきましたが、代表としての今があるのも、多くの支えや愛情のおかげだと感謝しています。これからも笑顔と優しさを大切に生きていきます。

今後の抱負について

施設を利用されている高齢者の皆さんに笑顔になってもらうこと。そして、保育園の子どもたちの20年後の笑顔のために必要なことを、職員と共に導き伝えていきます。福祉サービス事業は、人が生きていくためには必要不可欠であり、どんなに便利な世の中になっても、機械には決してまねのできない人と人とのつながりがあります。今後も地域の皆さんに喜んでもらえるよう精進してまいります。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。



子ども達に大切なことを伝える猪俣さん

問 企画調整課 企画調整班
(24) 5209